

**環境学委員会・総合工学委員会・材料工学委員会合同
SDGsのための資源・材料の循環使用検討分科会
第24期・第3回会議議事録**

- 日時： 2019年1月15日（火）15:00～15:45
- 会場： 日本学術会議5階 5-C(1)会議室
- 出席者： 中村 崇（委員長）・所 千晴（副委員長）・岡部 徹（幹事、記録）・安達 毅（幹事、スカイプによる参加）・大和田 秀二・林 幸・齊藤 公児・森口 祐一・村上 進亮（特任連携会員）
- 欠席者： 月橋 文孝・森田 一樹・伊藤 公久・安達 毅（幹事）・河野 佳織・笹木 圭子・平尾 雅彦
- 配布資料： 議事次第（1ページ）
資料1 第24期・第2回会議議事録（1ページ）
資料2 公開シンポジウム「SDGs時代における資源循環のあり方」の開催について
資料3 提言 SDGs時代における資源循環のあり方（案）（4ページ）

■議題

- (1) 前回議事（第2回 7月30日（月）10:30～12:00）はすでに事前のメールにより確認が行われているので、報告のみとなった。次回も同様に議事録の確認をメールにより行うことが委員長より提案され了承された。
- (2) 公開シンポジウムの企画について
シンポジウムの内容については、「SDGs時代における資源循環のあり方」というテーマで開催することとなった。また、今後行うべきシンポジウムの企画内容について話し合われた。内容については、今後、編纂予定である、「提言 SDGs時代における資源循環のあり方（案）」にあわせてシンポジウムのプログラムを決める方向で進めることとなった。
7月ごろにシンポジウムを行うという案が出た。
- (3) 提言 SDGs時代における資源循環のあり方（案）の内容と執筆者について

提言内容については、以下の構成案が提案された。

1. 資源循環とSDGs
2. マテリアルフロートLCAの役割
3. 素材別にみる資源循環の現状と課題、その解決に向けて
 3. 1 鉄
 3. 2 非鉄（アルミニウム、銅、亜鉛、鉛）
 3. 3 貴金属（金、銀、白金族金属（PGM））
 3. 4 プラスチック類（汎用プラスチック、CFRP、海洋プラスチック）
4. 循環経済とIT
5. まとめ

上記の内容で、提言を執筆する方向で合意された。個別案件については、「3. 4の海洋プラスチック」については、（主としてメディアによる）行き過ぎた対応が行われ

ているが、適切な対応と提言を行うべきだと意見があった。

上記、項目、「4. 循環経済と IT」については、学術会議メンバー以外の執筆者を探すべきであるとの意見があった。「1. 資源循環と SDG s」の担当は、中村委員長、「2. マテリアルフロート LCA の役割」森口委員と村上委員が担当することとなった。鉄鋼関係は、林委員を中心に鉄鋼関係者と連携して執筆を進めることになった。「3. 2 非鉄（アルミニウム）」の担当は、大和田委員、「3. 2 非鉄（銅、亜鉛、鉛）」の担当は、安達委員、プラスチックは平尾委員に相談することとなった。「3. 3 貴金属（金、銀、白金族金属（PGM）」の担当は岡部。

本年秋頃に、提言の1次案をまとめる方向で進めることとなった。

(5) その他

次回分科会は、次回、シンポジウム開催日の午前中に行う方向でメールにより相談することとなった。

以上